

グローバル・コンパクト
コミュニケーション・オン・プログレス (COP) 2016

対象期間

2016年4月1日～2017年3月31日

継続的支援の表明

私たち企業は今、経済的、環境的な変化だけでなく、自然災害をはじめとした様々な脅威への対応を求められ、大きな転換期を迎えています。その中で企業のパフォーマンスは、収益という観点のみならず、社会的価値においても厳しく評価される時代になってまいりました。

当社は、創業以来「人や組織が、充実感を伴ったパフォーマンスを発揮できるようお手伝いします」 "Helping People and Organizations Achieve Performance with Fulfillment" というミッションを世界共通で掲げています。その考え方には3つの基本戦略に据えています。

(1.) Focus on Customers' Issue

私たちはお客さま固有の課題に焦点をあて、その課題の解決をお手伝いします。

(2.) Momentum on Globalization

私たちは現在、世界40カ国以上で人材開発のお手伝いをし、さらにその地域や事業領域を拡大していこうと考えています。私たちは、「日本で最も小さなグローバル企業」として知られています。

(3) Technology Driven

私たちは、特定の人や条件に依存せずに持続的な成長を支援できるよう、われわれが持つ独自のテクノロジーで応えていきます。

この3つの基本戦略に基づき、グローバル・コンパクトが目指す社会の実現に向け、人権、労働基準、環境、腐敗防止の分野で、貢献できることを実行してまいります。

私たちは、グローバル・コンパクトの考え方を自らの事業戦略や企業文化、日々の業務によりよく取り込むことができるよう、このコミュニケーション・オン・プログレス (COP) の年次報告のなかで、活動を記します。また、私たちのステークホルダーと、コミュニケーションと密にとりながら、情報を共有してまいります。

代表取締役社長 為定 明雄

1. 人権原則に対して

① 方針

ウィルソン・ラーニングは 2008 年に倫理規定を制定。その第 14 条（その他社会人としての行動規範）において「1. 本規定の対象者は、社内においても、社外においても、性別、年齢、国籍、人種、門地、宗教、身体上の理由などによる差別を行ってはならない。」とし、当社および、当社グループの役員（取締役、監査役）、社員（正社員、契約社員、臨時社員）、その他当社事業所内で勤務する者に対して、人権の保護の支持・尊重を求め、自らが人権侵害に加担しないようにすることを求めている。

② 実践状況

イントラネットに倫理規定を掲載し、すべての対象者が順守するよう徹底した。会社規模は小さいながらも、グローバルに多国籍でビジネスを展開しており、社内ミーティングにおいても、性別、年齢、国籍、人種、宗教上の違いなど、あらゆる形態の差別をすることなく集い、これがひいては私たちのネットワークを強化することにつながっている。すべての社員は年一回開かれるコンプライアンス研修に出席しなければならない。

加えて、社員の 1 人が、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンの「女性のエンパワーメントの原則（WEP）」に関する分科会に参加。男女の雇用機会均等を推進するような働き方改革を進めることで、女性の人権問題に関わった。

③ 成果測定

前述のように従業員に対して、人権の原則を周知させ、倫理規定を履行するよう徹底している。従業員一人ひとりが、職場であらゆる形態の差別に対して、細心の注意を払っているかを確認するため、今以上に注意深く見守っていく。すべての従業員が、こうした方針に違反した事例を匿名で自由に通報できる制度を設けている。今後も引き続き、人権の原則について、管理職の会議や全社員が集まる朝礼で情報提供を続けていく。

2. 労働基準原則に対して

① 方針

「人や組織が、充実感を伴ったパフォーマンスを発揮できるようお手伝いします」をミッションとし、会社と従業員が対等で信頼しあえる関係を構築している。従業員が性別・年齢・国籍・人種・宗教に関わらず、適切かつ平等な立場で働けるよう取り組んでいく。

② 実践状況

基本的人権を尊重し、コンサルティングという業務の特徴から、裁量労働制やフレックス制を採用。業務内容に応じて柔軟な雇用形態を試みている。ライフスタイルが変化しても、継続して働きやすい環境を整えている。すべての育児中の社員に対して、育児休暇の取得や時短勤務も奨励しており、子育て中の社員にとって働きやすい環境である。

また当社の就労規則にのっとり、こうした労働基準の原則を再確認し、いかなる差別も起さないためのコンプライアンス研修を実施している。また「グローバル・コンパクト 10 の原則」のうちの原則 5、児童労働は世界的にも実施しておらず、法令順守に努めている。

③ 成果測定

社内の高齢化が進んでいることから、幅広い世代の社員の採用を進めている。当社では労働基準に違反した事例が一件、内部通報制度を通じて報告され、常勤監査役と役員会で、確認された。

人事制度を改訂する必要がある、外部のコンサルタントを入れて検討を始めている。私たちは、現行の労働条件に関して、慎重に審査している。就労時間をどう管理し、労働条件をどう改善し、働く権利をどう守っていくかという視点で決定する予定だ。

グローバル・コンパクトの原則に沿った形で、従業員向けのハンドブックの見直し、修正を引き続き行っていく。

3. 環境原則に対して

① 方針

節電や印刷量削減による、紙消費量の節約・リサイクルなどに積極的に取り組んでいます。またグローバル・コンパクト 10 の原則の 9 に掲げられている「環境にやさしい技術の開発と普及」に重きをおいている。

私たちは、iCT 技術を活用して、e ラーニングや、ウェブを使った従業員同士のコミュニケーションサイトを国内外に導入するビジネスを実施しているが、これにより従業員の不要な移動をしなくてすみ、二酸化炭素の排出量削減に貢献している。

私たちはまた、世界各拠点で印刷を行うことにしているが、これは、各国の独自性を尊重するとともに、物資の輸送を減らすことで、炭素の排出削減と気候変動に対応するという哲学にもとづいたものだ。

② 実践状況

わたしたちは、業務改善委員会を立ち上げ、節電や印刷量削減による紙の節約、リサイクルに関しては、環境問題に対する義務を励行している。例えば、空調の設定温度を管理し、温水便座の利用を抑制、私用している複合プリンターの数も 5 台から 3 台に削減。リサイクルも組織全体で取り組んでいる。

iCT に関しては、顧客企業に提供するのと同様に、社内でも活用している。

③ 成果測定

iCT に関しては、顧客の関心は高く、導入も進んでいるが、今後具体的に環境への貢献に関して数値目標を設定して、本活動を促進していくことが必要となっている。今後はすでに導入している事例についても環境問題への貢献を数字で表すことを検討する。

4. 腐敗防止原則に対して

① 方針

2008 年に倫理規定を制定。強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止に取り組むことを当社の役員（取締役、監査役）、社員（正社員、契約社員、臨時社員）、その他当社事業所内で勤務する者に義務付けている。

② **実践状況**

全社員を対象にコンプライアンス研修を実施し、不正行為に関する考え方と対処法について教育を施している。また、不正行為等の早期発見と是正を図るため、コンプライアンスホットラインを設置し、公益通報者保護法に対応した内部通報ができる環境を整え、コンプライアンス経営を強化している。

③ **成果測定**

今期に、腐敗防止原則に反する不正行為・法規制違反が1件、コンプライアンス・ホットラインを通じて発覚した。弁護士、提携先の社員、監査役で構成する調査委員会で3か月及び調査を実施し全容を解明した。私たちはこの結果、抑制と均衡のシステム、承認プロセス、監査のプロセスを改善した。

今後も引き続き、管理職の会議や全社員が集まる朝礼の場を通じて、腐敗防止活動に関する原則を従業員に周知徹底することを続けていく。

会社情報

会社名：ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社

住所：〒106-0032 東京都港区六本木一丁目 10 番 6 号

従業員数：50 名（連結従業員数：126 名）

負債および株主資本に区分した総資本：1,174,110 千円

主要商品・サービス：

■ 人材開発・組織開発のためのコンサルティングとソリューションの開発・提供

◇ リーダーシップ／マネジメント領域の強化

◇ 営業力の強化

◇ 個人のビジネス能力の強化

◇ アセスメント／調査

◇ 教育システムの開発／実施

◇ 組織変革カリキュラム

■ 人材育成クラウドサービス、エンゲージメントポータル、eラーニングコースの提供

◇ 総合人材プラットフォーム

◇ eラーニングコンテンツ

ガバナンスの構造：下記の2の組織によって構成。

取締役会（重要事項の決定）

執行役員会（執行役員担当業務の報告および課題の討議ならびに決定）

最高統治機関の長は執行役員を兼任せず。また社外取締役が1名、社外監査役が2名。

参考情報

主要海外子会社：

Wilson Learning Corporation

Wilson Learning Worldwide Inc.

8000 W 78th Street Suite 200 Edina, MN 55439 USA

Wilson Learning Europa Ltd.

23 London End Beaconsfield, Bucks ENGLAND HP9 2HN

Wilson Learning China, Ltd.

2605 SML Center No. 610 Xujiahui Road Huangpu District, Shanghai China

Wilson Learning India

No. 7006, 7th Floor, Emaar Palm Springs Plaza

Sector 54, Golf Course Road, Gurgaon 122003 Haryana India